MINI PEDAL

MP-01 ¥12,000

聴感上で最もなめらかな音量変化の得られるAカーヴの可変抵抗を使ったボリュームペダル。原音に対し0～17%のレンジで最小音量を自由に調整できるSUB VOLUMEを装備。リード/サイド切り換え用2段ボリュームにもなります。システムボードにマウントすれば、ボルテージコントロールペダルとしても使用可能。パラメトリックイコライザーPE-01のFREQUENCY、フランジャーFL-01のMANUAL、アナログディレイAD-10のDELAY TIMEの3種類のファンクションをコントロールできます。

FUNCTIONS

PEDAL VOLUME：ボリュームペダルの場合は音量を、ボルテージコントロールペダルの場合はCV（制御電圧）によってエフェクトをコントロール。ペダルを上げた状態で音量およびCVは最小。前に踏み込んだ状態で最大となります。

SUB VOLUME：ボリュームペダルの場合はペダルを上げた状態で得られる最小音量を、ボルテージコントロールペダルの場合はペダルを踏み込んだ状態で得られるCVの最大値を調整します。

INPUT：楽器のアウトプットや他のエフェクターのアウトプットと接続します。

OUTPUT：アンプやミキサー、他のエフェクターなどのインプットと接続します。

SPECIFICATIONS

入力インピーダンス：100kΩ
出力インピーダンス：60kΩ MAX
ボリュームカーヴ：Aカーヴ
ゲインロス：－1.5dB
最小ボリューム(SUB VOLUME)：0～17%
CVレンジ：0～7V(システムボードマウント時のみ)
ファンクション：PEDAL VOLUME、SUB VOLUME、INPUT、OUTPUT
電源：電池不要(システムボードにマウントして、CVペダルとして使用する場合は、ボード側からDCが供給されます)
寸法・重量：70W×73H×191Dmm・540g

ELECTRONICS

ミニペダルMP-01は足でペダルを上下させることによって信号音量をコントロールするボリュームペダル。システムボードにマウントすれば通常のボリュームペダルとしてだけでなく、他のPSEユニットのエフェクトをコントロールするためのボルテージコントロールペダルとしても機能するユニークなペダルです。MP-01はメインのペダルボリュームに加えて微調整用のサブボリュームを装備した2段構造。ボリュームペダルとして使用した場合は、サブボリュームによってペダルを上げた状態で得られる最小音量を微調整できます。サブボリュームの調整幅は原音音量に対して0～17%。反時計方向に回し切り、最小音量を0にすれば、バイオリン効果やフェイドイン・フェイドアウトを演出することができます。逆に、時計方向にある程度回した位置にしておけば、音量を絞った状態でも一定の音が残りますから、リードとサイドのコントラストをつけるためのエクスプレッションペダルになります。

図1はMP-01をボリュームペダルとして使う場合の、ペダルボリュームによる音量変化とサブボリュームの働きをまとめたもの。凹型の曲線（Aカーヴ）になっています。これは、人間の聴覚が小さな音に対しては音量変化に敏感なくせに、大きな音になるほど鈍感になる凸型の特性をしているため、その逆の形のAカーヴの可変抵抗を使うことで、なめらかな音量変化が得られるようにしているわけです。図2はMP-01をボルテージコントロールペダルとして使う場合の、ペダルボリュームとサブボリュームの機能を描いたもの。この場合はサブボリュームによってCV（制御電圧）の最大値を調整することができます。ところで、CVはアナログディレイAD-10のDELAY TIME、フランジャーFL-01のMANUAL、パラメトリックイコライザーPE-01のFREQUENCYなど他のPSEファミリーのエフェクトファンクションをコントロールするためのもの。つまり、サブボリュームはペダル操作によるエフェクトの変化幅を決める役割をすることになります。

図1 ボリュームペダル

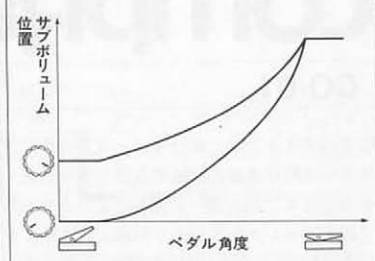
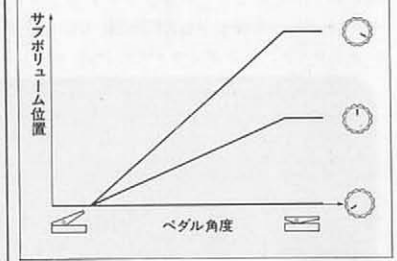


図2 ボルテージコントロールペダル



A PIECE OF ADVICE

MP-01をボルテージコントロールペダルとして使う場合、サブボリュームを反時計方向に回し切った位置にセットしないこと。CV（制御電圧）が常に0となり、目的の効果が得られなくなります。また、ボリュームペダルの後にコンプレッサー、リミッター、ノイズゲートなどのボリュームコントロール系エフェクターを接続する場合、これらのエフェクターのノブの位置によっては、なめらかな音量変化が得られなくなることがあるので注意しましょう。ボルテージコントロールを行なう場合は、音色の変化感覚をつかんでおくことも大切です。